第四回　スポーツ経営とイノベーション

工学系研究科技術経営戦略学専攻 37-176839 田村 浩一郎

スポーツ人口を10年で3倍にする

上記の命題を解くために，今回は以下の点について考察する．

* 現状の課題整理
* 施策案

1. 現状の課題整理

日本において、スポーツ庁の調査によれば月に一度以上なんらかの形で運動を行う割合は54%となっている．年齢などの条件には大きく作用されるが，ウォーキングや体操といったいわば「体を動かす」程度のものであって，表題のスポーツ人口という本目的とは乖離したものであることは否定できない．野球やサッカーといった艦船として人気の種目は必ずしも実施率に比例せず，その大半はチームスポーツよりも独自で進められるようなスポーツが主である．

1. 施策案

　以上のような現状を踏まえると，まずは健康志向のフィットネスのような巣形態のスポーツの促進が重要であると考えられる．現在，「時間がない」という理由で上記のようなスポーツが行えていない現状があるため，より手軽に，健康増進のための提案をするべきだと考えられる．例えば健康的な食事とのセットでのジムトレーニングをローカライズして行うことや，短時間でのトレーニング方法の確立などが考えられる．